

# 平成18年度 熊本県学校事務研究協議会

## 第3回 理事会

平成18年12月14日(木) 於：水前寺共済会館

### 第3回理事会

出席者：会 長：川上 事務局長：今坂

理 事：(荒玉)久保田(鹿本)宮崎(菊池)岩木(阿蘇)藤原(熊本)坂本  
(上益城)中原(宇城)本田(八代)平木(人球)平坂(水葦)大窪  
(天草)濱

事務局員：萩尾、山下、嶋原、大井、黒木

議長選出(宇城地区 本田理事) 次回は八代地区

会長挨拶

県大会お疲れ様でした。職務標準と組織改革の取り組みが必要。

御領小の岩佐先生(天草)が教育功労者表彰を受けられました。会報でお知らせします。

経過報告

議事

#### 1 今年度(第32会)大会の反省と総括

##### 第32会県大会の基本総括

###### (1) 運営面全体

- ・分科会会場次第ではマイクが使えないので不便であった(カーネーション)
- ・パレアの他の会場は狭く今のところカーネーションが最適であるので、PAパック等マイクとスピーカーの持込の検討も必要。
- ・参加者数が減少(会員減、多忙化、旅費の減額等)しているので、2日間連続ではなく総会と分科会を分けてはどうか、各地区で検討してください。
- ・1日目の日程が詰まり過ぎて、文科省の説明はこれからも必要なのだろうか。研究部の発表がメインであるべきではないか。熊事研の努力事項4点でもあるが、研修の機会として取り入れるべきでもあるし、行政説明(講演)があると出張で出やすい、後援を取り付けやすい等のメリットもある。
- ・繰越金について、年々減ってきているので次年度は更なる経費の見直しが必要。
- ・2日目の受付も1カ所(1日目の縮小受付)でお願いしたい。

###### (2) 全体研究会について

- ・テーマと違っていた内容であったように思われた(県教委)
- ・研究部の発表の時間を十分に確保して欲しい。
- ・まとめを会報に掲載します。

###### (3) 各分科会の総括と反省

- ・研究部の分科会は熊事研の方向性の確認もできるのでこれからも必要。
- ・平成21年度の全事研福岡大会でのレポートの持ち方も検討必要。その年の県大会は開催するのだろうか。
- ・分科会の数はそのままか、各地区原則1本は出してもらいたい。
- ・組織マネジメントを次年度もお願いしたい。地区研でも呼んではどうか。
- ・発表地区の分科会に同地区の会員が多数参加している。特に今年度は第4分科会参加者が少なかったため、各地区から数名ずつでもお願いしていた方が良かったのではないかと。
- ・レポートの性質が全く違うものでない限り、原則として全員登壇をお願いしたい。
- ・分科会の記録等はHPにアップ予定。

## 2 次年度（第33会）大会について

- ・平成19年11月27日（火）・28日（水）  
於：鶴屋ホール・パレア
- ・横断幕作成について、次年度第1回理事会にて検討。

## 3 「学校事務必携」の作成について

- ・新採用は研究部で準備しています。
- ・予備は昨年度より増。
- ・庶務課等へ渡す場合は、各地区研で対応してください。

## 4 その他協議事項

- ・標準的職務通知に向けて更に研究部で取り組みます。
- ・理事会の議長は午前・午後で分けてはどうか。
- ・組織改革（仮・情報調査部）については理事から各地区へ持ち帰ってもらい、次回3月の理事会で再度検討。来年度の総会にかけたい。  
部の詳しい内容については、会長から1月中に理事へお知らせがあります。
- ・全事研関連の調査報告が大変ですが、出来る範囲で協力をお願いしたい。
- ・大会のもち方、行政説明のメリット、デメリット？  
2日間連続か否か（春と秋等）各地区で会員の意見を集約して報告をお願いしたい。
- ・全事研セミナーの抽選方法・補助金について  
今年度は、上限5万円で正規県費旅費を2名分補助する。会報等で復興予定。  
理事会時、会長が抽選。桜山中、今村氏（熊本）西原中、神保氏（阿蘇）

## 5 その他連絡事項

- ・理事会終了後選考委員会
- ・図書調査お世話になりました（天草地区）

議長解任

次回理事会 2月27日（火）